



国際親善総合病院

病院だより

NO. 247
Summer
2016.7

特集

循環器内科
診療科のご紹介

TOPIX

momoko's Report(1)

薬剤師に密着

病院のできごと

春 夏 秋 冬

管理栄養士の シリーズ第8回

メディカルレシピ

夏を元気に過ごそう！
ゴーヤチャンプルー

病院の理念

良質な医療の実施

親切的医療の実施

信頼される医療の実施

熱中症 ～脱水に注意!!～

熱中症の季節になりました。熱中症と切っても切れないのが脱水です。脱水は熱中症を悪化させるばかりでなく、血をドロドロにして脳梗塞や心臓発作の原因にもなります。ご高齢の方、糖尿病や心臓・腎臓病をお持ちの方、利尿剤や安定剤を服用中の方、お体が不自由で動けない方は、家でじっとしていても気づかぬうちに脱水症になることが知られています。脱水症のよくある症状は、ふらつき、立ちくらみ、口の乾き、こむら返りですが、その他にも、暑いのに汗をかかない、尿の色が濃く量や回数が少ない、腋の下の皮膚をつまみあげると張りがなく元に戻らない、体重が1日で1kg以上減るなどの変化があるときは脱水症かもしれません。早めに医師や看護師に相談しましょう。これからの季節、体温と体重を毎日チェックすると良いかもしれません。

HOME PAGE



地域に密着した 救急医療を提供するために

病院再整備事業の一環として、4月27日(水)に救急外来がリニューアル・オープンしました。

新たな救急外来には重症処置室を2床、診察用の個室2室、経過観察用ベッド4床を備え、心肺停止患者の同時受け入れも可能になりました。近隣には救命センターが数少なく、当院がそれに準ずる役割を担わせていただいているため、この再整備により一歩前進となりました。



ナースステーション

救急外来



リニューアル

国際親善総合病院

045-813-0221(代)

横浜市救急相談センター
携帯電話・PHS・プッシュ回線

#7119

ダイヤル式：045-222-7119

横浜市南西部夜間急病センター

045-806-0921

また、年々増加する救急搬送患者さんに対応できるよう、この4月より救急科に医師が1名増員となり、常勤の救急専門医が2名体制となりました。

今後もこれまで以上に環境が整いましたので、地域に密着した救急医療が提供できるよう尽力してまいります。



重症処置室

ホルミウムレーザーを始めました

切らずに治す高齢者にも優しい治療



泌尿器科では、平成28年4月よりホルミウムレーザーを導入し、尿路結石や前立腺肥大症ではより幅広い診療を提供させていただくことが可能となりました。ホルミウムレーザーは深達度が0.4mmと浅いため、薄い尿路の壁を深く傷つけることなく低侵襲で安全な手術が可能となります。

尿路結石では、軟性尿管鏡を用いた経尿道的レーザー碎石術(ULU)を行います。屈曲するレーザーファイバーと軟性鏡を併用することで基本的に腎から膀胱のいずれの場所にある結石でも到達して手術が可能です。砕いた結石はバスケットカテーテルで摘出するため、より確実な治療となります。ただし、大きさや位置、硬さなどから適した治療の選択が変わるため、個々に適した治療をご提案します。

前立腺肥大症では経尿道的前立腺レーザー核出術(HoLEP)を行います。尿道から内視鏡を通して、前立腺の肥大した腺腫を被膜からレーザーでくりぬき(核出)、膀胱内で細かく崩して(細切)回収する手術です。電気メスによる経尿道的手術(TURP)が苦手とする大きい前立腺に対しても、より確実で出血がすくない手術が可能となり、入院期間も短縮できます。

詳細につきましては、泌尿器科外来にてご相談ください。



Holmium Laser

Photo by Boston Scientific

言語聴覚士について

当院のリハビリテーション科は理学療法士13名と作業療法士5名、そして平成28年4月より言語聴覚士が3名加わり、事務スタッフも含めて総勢24名とスタッフが充実し、患者さんに柔軟に幅広く対応することが可能となりました。

言語聴覚士とは

言語聴覚士とは話す、聞く、食べるのスペシャリストです。お子さんから大人まで幅広く対応しており、言語発達遅滞や病気、事故、加齢などが原因で言語障害や難聴、失

語といった言語・聴覚障害を持つ方や嚥下障害がある方に対して、機能回復や障害の軽減を図ることが必要となります。こうした、言葉によるコミュニケーションや飲み込みに問題がある方々の日常をお手伝いし、より良い生活を送ることができるようにサポートしています。



三上 輝明

青森県出身なので少なまっています。趣味は弓道や和風な物の収集です。よろしくお願いします。



近藤 由恵

患者さんとそのご家族の気持ちに寄り添ったリハビリを心掛けております。解決の糸口を一緒に見つけましょう。



杉田 沙樹

笑顔とやる気で溢れています！！一緒に悩み相談しながらがんばりましょう！よろしくお願いします。

言語聴覚士が対象とする障害



① 言語機能の障害

失語症、高次脳機能障害、言語発達障害など言葉が出にくい、コミュニケーションに問題を抱えた方。

② 食べること、飲み込むことの障害・摂食嚥下障害

病気や障害、加齢などにより食べ物を咀嚼（そしゃく）したり飲み込んだりするのが難しい方。

③ 聞こえの障害・聴覚障害

生まれつき言葉を聞くことが難しくなったり、加齢や病気などにより聞こえが悪い方。

④ 話しことばの障害

声が出しにくい、かすれる、呂律が回らない方。



看護 フェスティバル Festival

◆日時：平成28年6月9日（木）9：30～13：00

◆会場：国際親善総合病院 1階外来フロア

日本看護協会看護週間の行事として、毎年恒例となっている「看護フェスティバル」を開催しました。今回は191名の方々にご参加をいただきました。



Cardiology 循環器内科

循環器内科はいつも緊急!

当院の循環器内科は常勤医師5名と非常勤医師2名の体制で運営されています。外来、入院、検査（超音波、心電図、CTなど）、手術（冠動脈および末梢動脈のインターベンション「スセント治療」、ペースメーカー手

術）など多くの部門で看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、栄養士、その他の事務職員などの協力のもと日々の診療業務を行っています。日常業務はある程度仕事の予定を立てることができ、が、当科の特徴である急性疾患への対応は突然やってきます。急性心筋梗塞、狭心症、不整脈発作、心不全、肺塞栓、大動脈解離など命にかかわる病気が、24時間365日待ったなしで救急来院し、また入院中の患者でも病態が瞬時に変化します。これらの多くの疾患は最初の1時間以内（疾患によっては最初の数分間）の治療の内容が患者さんの命やその後の生活にかかわってきますので、緊急対応を優先することも多く、診療や面

談を予定していた患者さんやご家族にはご迷惑をかけることも少なくありません。幸い当院には救急科の常勤専門医が2名配置されたこともあり、救急疾患の初期対応は充実してきました。今後も急性期に強い循環器内科、いつでも頼りになる循環器内科をめざして、皆さまの信頼に応えられるよう一層充実させていきたいと思っています。

循環器内科病診連携について

当科はもちろんのこと、当院では地域の診療所の先生方と緊密な連携を取っています。日常診療は「かかりつけ医」である診療所で診ていただき、専門的な検査や治療が必要な場合は当院で診療を行う病診連携を長年

積極的に推進しております。相互の特徴を活かして役割分担し連携することによって、効率的で安心した医療を提供することが出来ます。地域の診療所の先生方から当科へは年間約2,000名もの患者さんをご紹介頂いております。持続する胸痛や呼吸苦などがある場合は救急車の要請になります

が、今は安定しているが心臓病が気になる方は、まずは診療所を受診していただき、詳しい検査や専門的な治療が必要な場合は当科への紹介状を書いていただき受診して下さい。

循環器カンファレンス

地域の医療機関の先生方をお招きして、症例検討会等を月1回程度開催。移転開業（平成2年）以来、次の開催（平成28年7月）で第210回目となります。



循環器内科スタッフ

有馬 瑞浩

循環器内科部長

医学博士、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本プライマリケア連合学会認定医 他

略歴

昭和63年 順天堂大学医学部卒業
平成16年 国際親善総合病院 循環器内科部長
平成23年 同 地域医療連携部長（兼任）

清水 誠

副院長・循環器内科部長

医学博士、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本救急医学会救急科専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医・指導医 他

略歴

昭和62年 横浜市立大学医学部卒業
平成19年 国際親善総合病院 循環器内科部長
平成22年 同 診療部長（兼任）
平成26年 同 副病院長（兼任）

Mizuhiro Arima

Makoto Shimizu

士養栄管理
遠藤 路子

☑内 科 ☑消化器科 ☑循環器科 ☑呼吸器科

緑台クリニック

相鉄いずみ野線
緑園都市駅
徒歩5分



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～ 12:00	○	○	○	—	○	○	○ (第1第3のみ)
14:00～ 18:00	○	○ (15:30～)	○ (15:30～)	—	○ (15:00～)	○ (15:00～)	—

緑台クリニック

〒245-0002 横浜市泉区緑園 2-6-11
TEL: 045-813-6333

緑台クリニックの藤井です。

地域のかかりつけ医として緑園都市で内科を開業しております。国際親善総合病院の専門医の先生方のご指導には常日頃から感謝いたしております。

先生方と連携して急性期疾患の早期対応や慢性疾患のより良いコントロールを目指しております。よろず医療相談所として地域の皆様方の悩みや不安に少しでもお応えできるよう努力いたして参ります。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。



ふじい たかひと 院長
藤井 隆人 院長

病院のできごと 4月～6月

春 夏 秋 冬

4月1日(金) 新しい仲間が勢ぞろい！

入 職 式

咲きそろった弥生台駅の桜並木が美しい花曇りの4月1日。今年度は62名の新しい仲間を迎え、新社会人、新医療従事者としてスタートする新入職員へ期待と激励を込めた入職式が行われました。これから各部署にて研修を行い、国際親善総合病院で働く医療人としての意識と技術を身につけていきます。



5月13日(金) 横浜市中川地区センターにて

第15回しんぜん院外健康教室



副院長・循環器内科部長 清水誠医師による「詰まる、裂ける、膨れる～動脈と静脈の病気～」についての講演会を開催。106名の方にご参加いただき、動脈と静脈のそれぞれの病気の違いにつき多くの質問をいただきました。

6月6日(月)・20(月) 応急処置に必要な技術と知識

泉区応急処置講習会



平成12年度から毎年看護週間に合わせて、横浜市泉区福祉保健センターとの共催で、泉区の保健活動推進員の方を対象に応急処置講習会を行っています。いざという時のための行動につながる講習会です。

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます

このたびの熊本で発生した大地震により被災された皆様に深くお見舞いを申し上げます。復興への道が一刻も早く軌道にのりますことを、心よりお祈り申し上げます。

国際親善総合病院 職員一同

